

公表：令和6年3月29日

総数 32名（100%）

事業所名：（福）この街福祉会 この街きつず学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	29	1	・子どもの人数が多い時には活動を2つに分けたりして内容を考えてきた。・クラスの数が多い時には人数を分けて支援している。	・園内の環境を利用してクラス毎調整を図り安心して活動できるように努めます。
	② 職員の配置数は適切である	28		・感染症などが流行ると足りていない時がある。・日によって子どもの人数に対して大人の人数が足りないことがある。・子どもの様子にもよると思うが職員が多いと感じる日もある。・放デイとも協力しながら日々の体制を組んでいる。配置によっては活動内容を工夫している。・放デイとの協力体制で整えている。	・国の配置基準は十分満たしています。・お子さんの状況で個別対応が必要な場合、職員間で連携・調整し、対応できるようにしてまいります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	32		・わかりやすく生活しやすいように、必要のないものはカーテンで見えないようにしたり、気が散らないよう本箱等後ろ向きにしている。・スケジュールがわかりやすい様に視覚支援を用いたり、見通しがもてるよう、写真や絵カードが使われている。	・子どもさん方が、自分から動けるよう、わかりやすさと見通しを示します。・危険のないよう情報共有します。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	32		・感染症拡大防止のため、玩具や部屋の消毒を行っている。・整頓されていて、子どもの気が他にいかないよう配慮されていると思う。・毎日の清掃が細部まで行き届いていると思う。	・引き続き、手洗い手指消毒、玩具の消毒、室内清拭等努めていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	29		・毎日のクラス内での振り返りや報告会。 ・毎週の職員会での情報共有。 ・年2回カンファレンスあり。	・毎週の職員会議、クラス会、リーダー会、を行い情報共有している。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	30		・保護者の意向をお聞きして、改善する点があれば、管理者・主任と協議し、改善したり、お返事をしている。	保護者向けの評価表を実施して、可能な限り改善に努めていく。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	28		・ホームページに掲載。 ・評価を共有している。	・法人ホームページに掲載しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	22	3	・第三者による外部評価は行っていない。 ・外部評価はしていない…？	・法人で検討しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	31		・法人で行う研修への参加のほか、事業所内で必要な研修を検討し行った。 ・虐待研修や、救急蘇生法の研修で改めて学ぶことができた。 ・研修の資料や日頃の支援で参考になる記事のコピーを配布してくれたため全員で共用できる。 ・虐待防止研修や読み合わせ等定期的に行っている。	法人内、園内の研修に加えてオンラインや県のビデオでの研修を受け、皆で支援の在り方等確認し支援の向上に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	31		・保護者の親のねがいや目標を聞き、それに基づいた支援計画を作成している。	年に2回を個別支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	31		・医療機関で発達検査をされていない場合、親御さんと担任とで KIDS や円城寺ツールをつけている。	発達状況に合わせたアセスメントツールで評価を行ったり、外部支援で行っていただきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	32		・児童発達支援 ガイドラインに基づいて、支援計画を立てている。	・ガイドラインの項目に沿って具体的な支援を記載しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	32		・クラス会で担任同士で話し合いを行い、活動を決めている。 ・担任間で話し合い、季節や子どもの状況に合わせた活動を組んでいる。	・個別支援計画の達成度や進捗を評価し、ご家庭と共有していきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	32		・机上の活動と運動の活動がバランスよくなるように計画している。	クラス会やクラス間で調整したり協力

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作や感触遊びムーブメント等工夫された楽しい活動が考えられている。</li> <li>・今年度は体操後のリズムなどいろいろな活動を取り入れられている。</li> <li>・担任間で話し合い一週間ごと活動内容を決めている。</li> </ul>	<p>し合って園全体で活動プログラムを立案し実行できるよう推進していきます。</p>	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	32		年間行事予定等で各クラス配分しながら行っている。	固定化しないように子どもたちの興味関心を取り入れて検討していきます。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	30		子どもに沿って個別活動と集団活動の参加の目的や仕方を個別支援計画に載せている。	それぞれの成長に合わせて、無理のない個別・集団活動を取り入れます。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	31		<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園前に、クラスで打ち合わせている。</li> <li>・バス添乗の職員も戻ってきたら、内容を共有して支援をスタートしている。</li> </ul>	毎日の支援の内容や役割分担を共有していきます。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	29		その日のうちに共有している。	・職員の意見を共有し支援に生かしていきます。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	32		・細かく記録されている。	・更に支援の検証・改善に努めます。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	31		定期的なモニタリングを行っている。	・モニタリングで見直された点は適切に改善します。	
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	28		管理者・児童発達管理責任者・担当する担任等。	・会議にふさわしい者を選定し参画できるように努めます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	28	1	児童の保健師、市町村の発達支援センターや障害児担当が来園している。	・必要な関係機関と連携し安心して育児ができるよう支援していきます。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	28	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な支援会議の開催を行っている</li> <li>・医療的ケア児の主治医の診察に同行している。・保護者の同意を得て、地域の保健師に見学に来てもらう。・教育相談後、各市町村の教育委員会とともに学校見学・体験に同行している。</li> </ul>	・引き続き安心して地域で暮らしていけるよう、関係機関と連携していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	28	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児は必要な時には受診の際同行し主治医との連携を図っている。</li> <li>・医師の指示書により安全に看護師が医療的ケアを行っている。</li> <li>・園児全員が嘱託医の視診を行っている。</li> </ul>	・主治医から情報提供を受けたり診察に同行し、安全な、園生活が送れるよう努める。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園移行のための体験に同行、学校見学・体験の調整と同行(各市町村の教育委員会と一緒に)</li> </ul>	・これからも移行支援の充実を図り、安心して地域移行していけるよう努めます。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の同意の上、支援シートを作成、情報共有。・各市町村の教育委員会と共に学校見学・体験に同行。</li> <li>・学校から児童を見学</li> <li>・引継会議の調整をし参加している。</li> </ul>	これまで通り地域小や特別支援学校等の見学・体験に同行します。スムーズに移行できるよう努めます。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	27	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携はある。</li> <li>・県内5施設の児童発達支援センターと連携し、情報共有を行ったり、各施設を回り、研修を行っている。</li> </ul>	情報共有をして質の向上に努めます。それぞれ必庄名研修に出席していきます。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	27	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別で交流が行われている。・年長児や移行のための交流はある。・年長児の希望者のみ、コロナ等感染症状況をみて来年度以降再検討していきたい。・年長児交流を行っている。・年長児のみ希望により交流している。</li> </ul>	子どもの地域の交流は同行します。保育園交流はコロナ前に少しずつ戻せるよう努めます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	24	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。</li> </ul>	地域の関係機関との連携を図ってまいります。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	32		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時にお伝えしたり、連絡帳を通して子どもの姿を共有したりしている</li> <li>・連絡帳や送り迎えの時にもしっかりとコミュニケーションが取れていると思う</li> </ul>	親子通園時に、直接目の前にいる子どもの行動から、発達状況や課題を話せ共通理解を持てます。その他

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時、懇談等で常に子どもの姿を共有できている。</li> <li>・送迎時や連絡帳などで伝え合っている。</li> </ul>	送迎時や連絡帳を通して伝えて頂適宜懇談を行います。	
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者による講演</li> <li>・保護者向け学習会(法人の各事業所の施設長との懇談 大人になったらどんな生活をしているか、将来の道は？など)</li> </ul>	保護者会様と保護者の皆様に関心のある学習会を企画して提供していきます。	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	28	・事前面接(入園前)の時少人数制で説明している。	丁寧に説明を行っています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年に2回 個別支援計画作成</li> <li>・個別懇談を行い、評価と次の目標のすり合わせをしている。</li> </ul>	児童発達支援ガイドラインに基づき個別支援計画を立て、説明を行い、保護者様の同意を得て、支援の提供をしていきます。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談された担任は複数担任全員で共有している。担任だけでは難しい悩み等の場合、主任、児童発達支援管理責任者や管理者等も含めて相談に応じている。</li> <li>・個別の時間を取って面談している。</li> </ul>	相談があったら、早く対応することが望ましいので、直接面談する等速やかに相談体制を整えて参ります。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	28	1	今年は何度も保護者が集まって、顔を合わせた勉強会やお話ししましょうの会が開催された。	・保護者同士の連携を図れるよう、協力していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	29		口頭や連絡帳を通して保護者から申し出があった場合、確実に返答し、その件について担任間で共有しています。	これからも迅速に懇談等行い丁寧に傾聴し対応してまいります。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	30		・園だよりの中で、子どもの生活全般で気になる点を保護者に対し投げかけてほしい（服装、持ち物、着脱、登園時の様子など）	・学園だより、給食だより、保健だより、一斉メール(it)、等

				・学園だよりなどで写真も掲載し様子を伝えて います。	早めに情報発信で きるよう努めます。
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意し ている	30		・個人情報の取扱いに注意しています。	・情報管理に努め ます。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配 慮をしている	32		視覚支援で対応している。	・職員同士の情報 共有を徹底し、わ かりやすい支援を提 供します。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招 待する等地域に開かれた事業運 営を図っている	18	8	・コロナ等の感染拡大防止のため ・以前は、コロナ禍以降はまだ。 ・招待する等はないが、閉鎖的ではないと思 う。・コロナの影響で今年度外部の方は呼ん でいない ・コロナ等感染症状況をみながら一 部再開し始めている。 ・コロナ等もありあま り行えていない。・感染症などの関係で今現在 は見合わせ中。・コロナ禍の中で行事をなか なが行えない状況にあった。来年度に向けて 少しずつ再開していく。	・ボランティアに 来ていただいたりと、 交流させていただ いている。地域に 開かれた事業所 であるようにさらに 努めます。
非常時等 の 対 応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等 を策定し、職員や保護者に周知 するとともに、発生を想定した訓 練を実施している	31		・月 1 回避難訓練を実施し、その都度振り 返りをして非常時に備えている。・感染症に 関して、特に細かくマニュアルが決められている ・訓練の反省、改善点は全職員に伝えて、ク ラス担任だけでなく全員が動けるようにしたい	・緊急時対応につい ては一斉メール。感 染症マニュアル等一 部学園のしおりに掲 載しています。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出その他必要な訓練 を行っている	31		・火災も地震も様々な状況の避難訓練が毎 月行われている。・外部（消防など）に訓練 の様子を見てもらい、助言をいただきたい ・実施はしているが身につけているか。窓・カー テンの開閉など声掛けで行う意識必要。・9 月には法人全体の合同避難訓練があり、当 園では親子合同避難訓練となっています。	今後も様々な想定 で月 1 回の訓練を 行い、振り返りを し、緊急事態に備 えていきます。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てん かん発作等のこどもの状況を確認 している	31		・児童票に記入してある。 ・変更があればその都度看護師・担任と面談 している。	てんかん発作等は主 治医の指示書により 安全に生活できるよう 対応に努めます。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応が されている	34		・部屋を分けたり掃除等も徹底されている。 ・毎回の食事で声を出して確認する行動をと りたい。 ・除去食を毎日朝職員間で確認している ・診断書の提出により検討している。	栄養士・看護師と痰 とで医師の診断書に 基づき除去食品の把 握をし、職員全員で 安全管理の徹底に努 めます。

④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし給食に関する事例・改善点等あれば確認したいです。</li> <li>・代替にも見せてください</li> <li>・朝会の用紙で報告されて終わってしまうと当日休みだと知らないままになってしまう。</li> <li>・事故報告を細かく行い改善案を必ず提案している。</li> </ul>	職員全体で取り組んで、防止に努めて参ります。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	27	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止研修が行われている</li> <li>・法人で職員全体への研修がある。</li> </ul>	法人内に虐待防止委員会が設置されて定期的な研修を、皆で受けて適切な対応ができるよう努めます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載している	28		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に記載</li> <li>・医師からのアドバイスによるもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者様の十分話し合い、主治医と嘱託医の意見により個別支援計画に記載し安全な支援に努めます。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。